

## 取扱説明書

### AT2020USB+ USBマイクロホン

#### 目次

安全上の注意	2
はじめに	3
各部の名称と機能	4
ご使用前の設定 (Windows)	5
ご使用前の設定 (Mac OS X)	8
接続例/使いかた	10
テクニカルデータ	11
指向特性	11
周波数特性	11

# 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。



## 警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。



## 注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。



## 警告

- 分解や改造はしない
- 強い衝撃を与えない
- 濡れた手で触れない

感電によるけがや事故、本製品の故障の原因になります。



## 注意

- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない

本製品の故障、不具合の原因になります。

## 使用上の注意

- ・すべてのパソコンの動作保証をするものではありません。
- ・自作パソコンおよびOSの個人でのアップグレード、マルチブート環境では動作保証できません。
- ・接続の際は、付属のUSBケーブルで本製品とパソコンを直接接続してください。
- ・USBハブおよびUSB延長ケーブルは使用しないでください。
- ・USBコネクタはジャックの奥まで真っすぐに差し込んでください。
- ・USBコネクタを斜めに差し込むと故障の原因となる場合があります。
- ・ご使用にならないときは、USBケーブルを取り外してください。
- ・大切な録音の場合は、必ず事前に試し録りを行い、正常に録音されていることをご確認ください。
- ・本製品や接続した機器に問わず、ソフトおよびデータなどは補償いたしかねますのでご了承ください。

お買い上げありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。  
また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

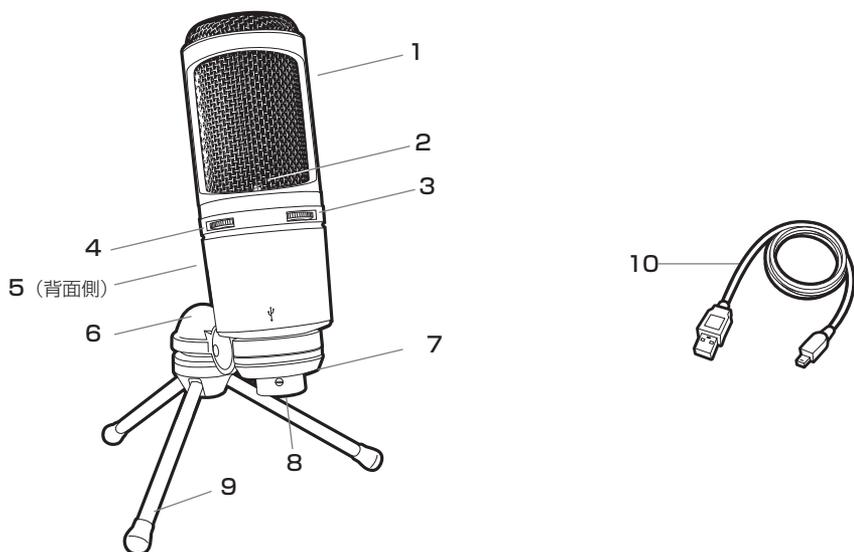
本製品はUSB出力端子を備えており、録音用ソフトウェアで音楽やさまざまな演奏音源のデジタル音声保存ができるように設計されています。自宅スタジオでの録音、野外での録音、ポッドキャストイング、ナレーションでの使用に最適な、スタジオ品質レベルの録音と、クリアサウンドを実現します。

また本製品は、音量調整付きのヘッドホン出力端子を内蔵しております。このヘッドホン出力端子で、マイクロホンの信号を遅延なしに直接モニターできます。また、ミキサー調整ダイヤルも付いているため、マイクロホン経由の音声と録音済み音源とをミキシングすることができます。指向特性によって、卓越したハウリングマージンが得られるとともに、16bit、44.1/48kHzのサンプリング周波数を持つA/Dコンバーターによって、きわめて明瞭なサウンドが再生されます。

### 特徴

- ・高品質A/D、D/Aコンバーターを搭載し16bit/48kHzまでのデジタルレコーディングに対応
- ・デスクトップにおいてもレコーディングスタジオのような高音質サウンドを実現
- ・遅延のないダイレクトモニタリングが可能なヘッドホン出力端子を搭載
- ・ミックスコントロールによりマイクロホン音声と録音済み音源のミキシングが可能
- ・DTMから動画配信、ポッドキャストイング、フィールドレコーディングまでをカバーするフラットで広帯域な周波数特性
- ・Windows 7/8/8.1/10、Mac OS Xに対応

## 各部の名称と機能



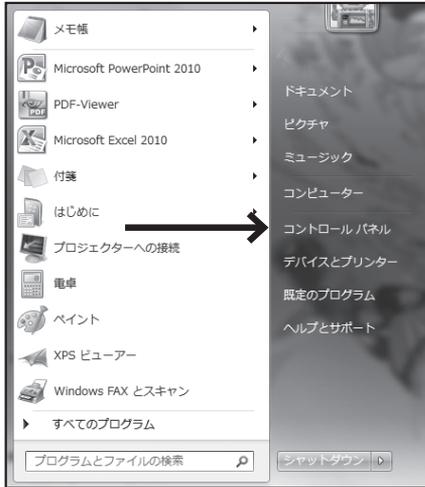
- |                  |                               |
|------------------|-------------------------------|
| 1. マイクユニット       | 単一指向性バックエレクトレット・コンデンサー型       |
| 2. LED           | USBから電力が供給されている間は、青色に点灯します    |
| 3. ヘッドホン音量調整ダイヤル | ヘッドホンの音量を調整します                |
| 4. ミキサー調整ダイヤル    | マイクロホン経由の音声と、録音済み音源とをミキシングします |
| 5. ヘッドホン出力端子     | ヘッドホン接続用のφ3.5mmステレオミニジャック     |
| 6. 専用スタンドマウント    |                               |
| 7. ねじ式カラー        | ねじでマイクロホンを固定します               |
| 8. USBコネクター      | USBケーブル(付属)でパソコンと本製品を接続します    |
| 9. 三脚デスクスタンド     |                               |
| 10. USBケーブル      |                               |

### ■ 専用スタンドマウント(付属)および三脚デスクスタンド(付属)を用いたマイクロホンの取り付けかた

- 三脚デスクスタンド上部に専用スタンドマウントのねじ部分を回して取り付けます。
- 三脚デスクスタンドを平面に置きます。  
(三脚デスクスタンドの脚部は開脚可能です。)
- 本製品を専用スタンドマウントのねじ式カラーに取り付け、しっかりと固定されるまでねじ式カラーを締め付けます。必ずマイクロホンの正面を音源に向けてください。  
(USBマークとLEDがある側がマイクロホンの正面です。)
- 必要に応じて、専用スタンドマウントのノブでマイクロホンの角度を調整します。
- 付属のUSBケーブルを、マイクロホンの底部にあるUSBコネクターに接続します。

## ご使用前の設定 (Windows)

1. USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。マイクロホンのLEDが点灯し、マイクロホンに電力が供給されていることを確認します。パソコンがUSBデバイスを自動的に認識し、パソコンにドライバがインストールされます。
2. 画面右下に、新たなハードウェアが見つかったことを示すメッセージ、またはドライバソフトウェアのインストールを知らせる内容が表示されます。
3. 「スタートメニュー」>「コントロールパネル」を選択します。  
本製品をデフォルトの録音デバイスに選択するには、「スタートメニュー」から設定してください。



### ※Windows8の場合

画面右端にチャームバーを表示し、「設定」>「コントロールパネル」を選択してください。

「Windows」キーを押しながら「X」キーを押すことでも「コントロールパネル」を選択することができます。



## ご使用前の設定(Windows)

4. 「サウンド」を選択します。



5. 下記の画面がポップアップ表示されます。

「再生」タブを選択します。

デフォルトのデバイスとして本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。



6. 「録音」タブを選択します。

デフォルトのデバイスとして本製品を選択し、「既定値に設定」をクリックします。



7. 本製品のアイコンをダブルクリックし、「マイクロホンプロパティ」ウインドウを開きます。

「レベル」タブを選択してマイクロホンの音声入力レベルを調整します。

録音を開始後、マイクロホンの音声入力レベルを再調整するには、このウインドウから調整します。

\* Windows8でご使用の際、マイクロホンの音声入力レベルが不十分であると感じられる場合は、必要に応じてレベルの調整を行ってください。(P10の■ソフトウェアレベルの設定も併せてご確認ください)



以上で設定が完了です。お好みの録音用ソフトウェアを用いて本製品を使用してください。

## ご使用前の設定 (Mac OS X)

1. 付属のUSBケーブルをパソコンのUSBポートに接続します。マイクロホンのLEDが点灯し、マイクロホンに電源が供給されていることを確認します。パソコンがUSBデバイスを自動的に認識し、パソコンにドライバーがインストールされます。
2. 音声入力デバイスとして本製品を選択するために、「システム環境設定」を開いてください。



3. 次に、「サウンド」を選択します。



4. 「入力」タブを選択し、音声入力デバイスとして本製品を選択します。



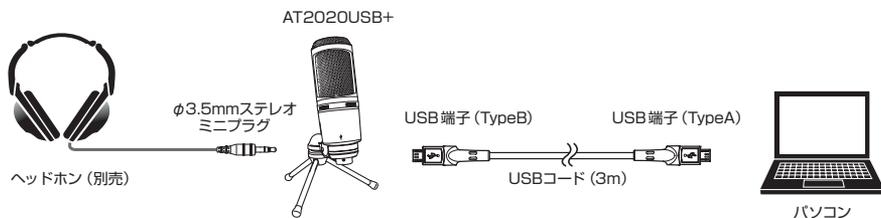
5. 「出力」タブを選択し、本製品がデフォルトの出力デバイスに選択されていることを確認します。



以上で設定が完了です。お好みの録音用ソフトウェアを用いて本製品を使用してください。

## 接続例／使いかた

### ■接続例



### ■ヘッドホンを使用する場合

\*ヘッドホンを使用する前に、必ず音量を小さくしてください。

1. 本製品を付属のUSBケーブルでパソコンのUSBポートに接続し(接続後にマイクロホンのLEDが点灯します)、設定完了後、マイクロホンの背面にあるヘッドホン出力端子にヘッドホンを接続します。(マイクロホンの背面にあるヘッドホン出力端子を使用する場合、パソコンのヘッドホン出力端子を経由した音声のモニタリング時よりも遅延を生じることなく、音声を直接モニターすることができます。)
2. マイクロホンの正面に音声の発生源を向け、ヘッドホンで音声を確認してください。ミキサー調整ダイヤルをCOM側に設定されている場合は、その音声を聞くことはできません。ヘッドホン経由で音声を聞く場合は、MIC側にミキサー調整ダイヤルを回し、設定してください。
3. 音量の調整は、マイクロホンの正面にあるヘッドホン音量調整ダイヤルで行ってください。

※ヘッドホン音声調整ダイヤルは、マイクロホンのヘッドホン出力の音量調整のみ行います。マイクロホンの音声入力レベルの調整はできません。

### ■ミキサー調整ダイヤルを使用する場合

本製品では、音声を録音しながら、録音済み音源をモニターできます。ミキサー調整ダイヤルで、マイクロホン経由の音声レベルと、パソコンに保存された録音済み音源の音声レベルとのバランスを調整することができます。ミキサー調整ダイヤルをCOM側に回すと、録音済み音源の音量が大きくなり、逆に、MIC側に回すと、ご自身の音声や楽器の音量が大きくなります。

### ■ソフトウェアの選択

さまざまな録音用ソフトウェアプログラムをネット上でダウンロードしてご利用いただけます。

### ■ソフトウェアレベルの設定

最適な性能を発揮させるために、マイクロホンの音声入力レベルを適切に調整することが大切です。パソコンに過剰な負荷がかからない範囲で、マイクロホンの音声入力レベルをできる限り高くしてご使用ください。音声が歪んだり、ご使用の録音用ソフトウェアが常にピークなレベルであることが表示されたりする場合は、コントロールパネル (Mac OSの場合、システム環境設定) の設定、または使用する録音用ソフトウェアで、マイクロホンの音量を小さくしてください。マイクロホンの音声入力レベルが不十分であると感じられた場合、コントロールパネル (Mac OSの場合、システム環境設定) の設定、またはご使用の録音用ソフトウェアで、マイクロホンの音声入力レベルを大きくしてください。

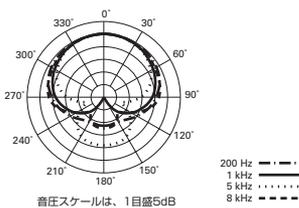
### ■マイクロホンの設置

マイクロホンを最適な環境でご使用いただくためには、音声の発生源がマイクロホンの正面に配置されるように設置することが大切です。ナレーションなどで使用する場合は、マイクロホンを話し手/歌手の正面に設置するのが理想的です。アコースティックギターやドラム、ピアノなどの楽器の音源を録音する場合も、同様です。マイクロホンの設置場所をいろいろと試し、使用するセットアップ環境で最適な音声が録音できるように設置してください。

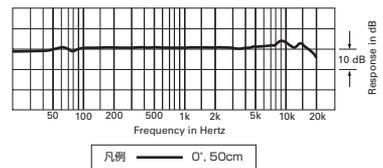
必要システム仕様	USB 1.0または2.0、64MB RAM以上
対応OS	Windows 7/8/8.1/10、Mac OS X
型式	バックエレクトレット・コンデンサー型
指向特性	単一指向性
周波数特性	20~20,000Hz
電源	USB電源(DC5V)
ビット数	16bit
対応サンプリング周波数	44.1/48kHz
質量	386g
外形寸法	φ52mm×162mm
出力コネクタ	USB Type B
ヘッドホン出力	130mW(1kHz、10% T.H.D.、32Ω時)
ヘッドホン出力端子	φ3.5mmステレオミニジャック
付属品	専用スタンドマウント、変換ねじ(3/8-5/8)、ポーチ、三脚デスクスタンド、USBケーブル(3m)

(改良などのため予告なく変更することがあります。)

## 指向特性



## 周波数特性



---

---

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

©2017 Audio-Technica Corporation

[www.audio-technica.co.jp](http://www.audio-technica.co.jp)

Made in China

142314460-01-02 ver.1 2014.10.31  
ver.2 2017.09.15

---